

Viva Kango

No.52

Campus News of Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing

〒090-0011 北海道北見市曙町664-1 TEL (0157) 66-3311 FAX (0157) 61-3125
mail to:kouhou@rchokkaido-cn.ac.jp http://www.rchokkaido-cn.ac.jp

発行日/2020年9月1日
編集・発行/広報委員会



日本赤十字北海道看護大学

新型コロナウイルス感染症と本学の6か月を振り返って

- 1月16日 日本で初めての新型コロナウイルス感染症の確認
- 2月3日 横浜にダイヤモンド・プリンセス号停泊
- 2月6日 大学から注意喚起の発信：中国への渡航自粛について
- 2月22日 北見市にて新型コロナウイルス感染症の発生、のちにクラスター発生
- 2月28日 北海道独自の「緊急事態宣言」
- 3月2日 本学入校規制開始（4月6日まで）
- 3月10日 学位記授与式の中止、卒業生・修了生への動画配信（写真1、2）
- 4月 入学式の中止
- 4月6日 入校規制解除
三密を回避したオリエンテーションならびに対面授業の開始（写真3～8）
- 4月20日 国による緊急事態宣言の発令に伴う入校規制（5月31日まで）
- 5月11日 遠隔授業の開始（5月29日まで、写真9）
- 6月1日 対面授業の再開
- 6月1日 病院実習の開始（基礎看護学実習Ⅱ 6/1～、領域別看護学実習 6/8～）
- 7月31日 現在に至る



写真1. 卒業生・修了生への動画配信（学長のことば）



写真2. 卒業生・修了生への動画配信（教職員からの正一礼）



写真3. 講義室面積を2倍に拡張 (2、4年生:送信側教室)



写真4. 講義室面積を2倍に拡張 (2、4年生:受信側教室)



写真5. 講堂の使用 (1年生)



写真6. アリーナの段ボールベッド設営 (3年生)



写真7. アリーナの使用 (3年生)



写真8. 段ボールベッドを机ならびにイスとした講義の実施



写真9. 1~4学年による遠隔講義接続試験の様相 (5月8日)

ご挨拶

日本赤十字北海道看護大学

学 長 河 口 てる子

今年は、春になる前から新型コロナウイルス感染対策に追われ、卒業式も入学式も開催できない、あわただしくも寂しい年になりました。人生いろいろあるとは言うものの、節目の卒業式・入学式がなく、入学ガイダンスが済んだと思っただけから緊急事態宣言が発令され、“stay home”で遠隔授業になり、新入生は大学生になった気分はないかもしれません。

このような状況の中ですが、本学のある北見市は、早い時期に新型コロナウイルス感染のクラスターが発生したものの、その後は感染者ゼロで経過し、6月から病院実習を順調に実施しています。予定通りに病院実習を実施している看護大学は、全国的にも珍しく、赤十字病院との連携と配慮の賜物です。病院実習は、学生の臨床実践能力育成のために不可欠な学習で、本当に安堵し、感謝しています。

さて、今度は皆さんの状態に話題を変えましょう。皆さんは、看護師への第1歩を踏み出したわけですが、人と接する職業はいかがでしょうか。入学してみても、人と接するのが苦手、この道に進むのが辛いと感じる学生はいませんか。そういう時は、担任の先生や学生相談の窓口で自分の気持ちを話してください。教職員一同、誰でも相談に乗り、納得のいく選択をサポートしますので、一人で思い悩まないでくださいね。

学年担任の紹介

◎ 第一学年 ◎

山本 美紀

一年生の皆さん、入学式がなくなくなり、同級生と集まって楽しく会話ができず、開始早々に休校になり遠隔授業と、コロナ禍によりできなかったことが多い前期でした。しかし、これを前向きに捉えて行動するのが赤十字の学生となった皆さんの最初の歩みです。「ステイポジティブ」。想像力を働かせて工夫し、柔軟に対応できるチカラを養うチャンスと捉えましょう。私たちは皆さんの学びと成長をサポートします。



矢萩 悦啓

Ciao a tutti! 嵐の中の船出となりました。コロナがもたらした制約の中で学校生活が始まり、疲れもかなりたまってきているのではないのでしょうか。級友たちと励まし合いながら学校生活を前進させましょう。アメリカの作家マーク・トウェインは「自分を元気づける最善の方法は誰か他の人を元気づけることだ」と言っています。互いに励まし合いながら爽りある4年間にしましょう。Buon viaggio!

餘目 千史

一年生の皆様、保護者の皆様、成人看護学領域の餘目千史と申します。皆様が入学されてから季節は春から夏に移ろい、様々な状況と向き合ってきました。これからの大学生活や学業など大変なこともあるかと思えます。しかし、そのような中でも仲間と共に学びあい、仲間とともに過ごす時間を大切に本学での4年間を過ごして欲しいと願っています。教員も皆様と共に学びたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。また、何か困ったことがあればいつでもご相談に来て下さい。

伊東 智美

母性看護学領域の伊東智美です。入学後間もなく、新型コロナウイルス感染症の影響でいろいろな規制があり戸惑いも大きかったと思います。予想外の状況の中、乗り越えてきた皆さんの力強さを感じています。これからも皆さんの成長を見守りつつ支援していきます。何か困ったり、悩んだりすることがあったら、いつでも声をかけて下さい。皆さんと授業や実習ができるのを今から楽しみにしています。どうぞよろしくお願いたします。

◎ 第二学年 ◎

伊藤 善也

入学式直後に講堂でこれからの学生生活を語ったときの皆さんは初々しさや不安が同居した表情でした。そのような皆さんも二年生となって自信がみなぎってきました。新型コロナウイルス感染症に右往左往する日常ではありますが、身に付けてきた知識と技術に加えて、精神力で着実にゴールに向かって歩んでください。そのために私たち、担任は伴走を続けたいと思います。うれしいときも、悲しいときも、辛いときもお声がけください。

志賀加奈子

一年生の皆さん、忙しくも充実した毎日を過ごすことができます。

しょうか？一年生とは違う新たな悩みも生まれているかもしれません。そんな時の相談窓口の一つが担任です。実は、皆さんが悩みながら頑張る姿に学生時代の自分を重ねることも多いんです（もしも昔話が長くなったらごめんなさい…。是非、連絡して下さいね。皆さんの背中を一生懸命に押ししたいと思います！

新谷 純代
二年生の皆さんこんにちは。今年度は、コロナ感染対策のため遠隔授業になるなど落ち着かない年度のスタートでしたが、そのような中、担任面談やOSCEの授業において、この一年でたくましく成長している皆さんの姿を見ることができてとてもうれしく思っています。引き続き担任として皆さんの大学生活を一杯サポートさせていただきます。

で、どうぞよろしくお願いいたします。須田 彩佳
二年生の皆さん、保護者の皆さま、昨年に引き続き担任となります地域・在宅看護学領域の須田です。二年生になり、より専門的な教科、そして病院での実習も始まり、不安と期待の日々をお過ごしのことと思います。講義・演習・実習などの学業や学生生活について悩むときには、いつでも声をかけてください。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

◎ 第三学年 ◎

根本 昌宏
三年生の皆さま、実習、頑張っていますか？移動・行動の制限など困難もあると思いますが、実習をさせていただけると有難さを感じています。今、進んでいる時間は、数年後には語り継がれる場面になるでしょう。今できることを、しっかりと学び、力にしてください。

八木 絵里子
三年生の皆様、こんにちは。今年から担任になりました、八木（やつぎ）です。三年生は領域別実習が続くので、さまざまな患者様との出会いから自分の看護観を培っていく大



事な時期です。自分の体調がよいことがよいケアにもつながるので、健康管理に留意して実習をしていてください。

浅野 綾子
三年生の皆さんこんにちは。今年度担任となりました浅野です。よろしくお祈り致します。

領域実習はいかがでしょうか？身をもって学ぶことが多い分、大変なことも沢山あることでしょうか。辛いときは一人で頑張りすぎず、仲間や先生方に相談しながら乗り越えましょうね。応援しています！

正源 美穂
三年生の皆さん、ご父兄の皆様、地域看護学領域の正源です。三年次は実習が中心で、忙しさの中で不安や悩むことも沢山あると思います。自分が、人を大切に想うためには、自分

の事も大切に想えることが大事です。そして、皆さんの事を想っている一人として、精一杯サポートさせていただきますので、気軽に声をかけてください。よろしくお祈り致します。

◎ 第四学年 ◎

山崎 弘資

つい先日入学してきたと思っていながら、早いもので、来春三月には卒業し、医療従事者として社会に羽撃いてゆく君達。今年度は新型コロナウイルス感染症のため、いろいろ行動が制限され、先行きも不透明なこの頃ですが、残り半年、大学での学生生活を満喫してください。

園田 裕子

四年生の皆さん、ご父兄の皆様、引き続き担当致します。成人看護学領域准教授の園田裕子です。山崎弘資先生を中心に四名が連携し最終学年を迎えました。四月のオリエンテーションでもお伝えしましたが、昨年の先輩が成しとげた「国家試験全員合格」を今年度も引き継ぎ、二年連続の「全員合格」に向かって、学年全員が一致団結をするという目標を掲げました。私たち担任も、この目標に向かって最後まで諦めず、サポートするつもりであります。私たちはいつも皆さんを応援しています。

吉谷 優子

四年生の皆さん、進級おめでとうございます。仕上げの実習をして、国家試験や就職、進路選択に向かう年ですね。それぞれに期待を胸に、感染予防に気を配りつつ、気を引き締めていることと思います。この期間に、熱心に一緒に取り組む中で、今まで大学で出会った人達との友情も深まっていくことでしょうか。楽しみですね。

種本 純一

初めて担任となった一年生の頃からあっとい間に月日が流れ、気づけばもう卒業の年ですね。私自身、多くの不安や悩みの中で皆さんと向き合ってきました。一年生の頃から担任である山崎先生、園田先生をはじめ、皆さんからは本当に多くのことを学ばせていただきました。担任最後の仕事として、四年生全員が無事国家試験に合格できるよう、残された時間を全力でサポートしていきたいと思えます。頑張ってください！

